

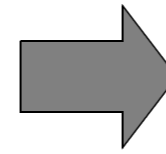


# ふるさと樹海に学び

# 世界に目を向け行動する人

## 重点を置いて育成する資質・能力

- [知識及び技能]  
 ○基礎的・基本的な知識や技能を身につけ、活用できること  
 [思考力、判断力、表現力等]  
 ○問題解決の力を育て、課題を見だし解決に向けて取り組むことができること  
 [学びに向かう力、人間性等]  
 ○自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、自分と異なる意見や立場、生命、自然環境を大切にできること



## 目指す子ども像「樹海人10の姿」

- ①「学習し続ける人」
- ⑥「計画し、実行する人」
- ②「心を開く人」
- ⑦「自分と大切な人の命を守れる人」
- ③「知識・情報を使える人」
- ⑧「改善する人」
- ④「思いやりのある人」
- ⑨「運動し続ける人」
- ⑤「見通しをもてる人」
- ⑩「挑戦する人」

### [学校経営の方針(家庭・地域と学校との約束 ~子どもの成長をみんなで支えるために~)]

目標	[ 知育 ] 自己を肯定的に受け止め、夢や希望を実現する方法を見いだす児童生徒	[ 徳育 ] 相手の気持ちや立場を考え、他者を思いやる心をもつ児童生徒	[ 体育 ] 運動を通して体力をつけ、心身の健康管理ができる児童生徒
	<p>《 一人一人に合った学習 》</p> <p>☐ 確かな学力を身に付け、思いや考えを表現できる子どもを、学習習慣を形成し、授業改善を進めることを通して育みます。                      ◇思考力・判断力・表現力</p> <p>☒ 多様性を受け入れ積極的に学び合える子どもを、他学年・他校種・他地域・他国との交流を通して育みます。                      ◇学びに向かう力</p> <p>☓ 目的に応じた情報を適切に活用できる子どもを、ICTや学校図書を用いた学習を通して育みます。                      ◇情報活用能力</p>	<p>《 高め合い、支え合う仲間 》</p> <p>☐ 相手意識や思いやりをもって行動できる子どもを、日常的な会話や深い児童生徒理解に基づいた学級経営を通して育みます。                      ◇共感力</p> <p>☒ 各活動の目標や将来を見通して前向きに取り組める子どもを、学年段階に応じたキャリア教育や社会・地域との関わりを通して育みます。                      ◇自己実現力</p> <p>☓ 目標の達成に向けて自分たちで取り組める子どもを、学年段階に応じた取組や組織の一員としての役割を意識した活動を通して育みます。                      ◇計画力・実行力</p> <p>☑ 自他の生命を大切にし、防災・防犯・ネット犯罪等の知識をもとに適切に対応できる子どもを、状況を想定した話し合い活動や実践訓練を通して育みます。                      ◇危機回避能力</p>	<p>《 自分の目標・目的を達成する活動 》</p> <p>☐ 自らの健康や生活をコントロール・改善できる子どもを家庭と連携した生活習慣の改善を通して育みます。                      ◇自己調整力</p> <p>☒ 体力増進の必要性を理解し、目標に向かって意欲をもって運動に取り組める子どもを体力づくりを通して育みます。                      ◇行動力</p> <p>☓ 自信をもって活動できる子どもを、体育的行事において、運動に取り組む楽しさや達成感を味わわせることを通して育みます。                      ◇自己肯定感・向上心</p>
家庭	◎家庭学習環境の管理(時間・物・質) ・1・2年生20~30分、3・4年生40~50分、5・6年生60~70分、7年生80分、8年生90分、9年生100分が北海道の目安時間 ・メディアに触れる時間のルールづくりを行い、家庭学習の時間を確保する。	◎学校生活の出来事を一日一回は家庭で話し合う時間を持つ ○明るいあいさつ 自分から、家庭から	◎基本的生活習慣の定着 ・「早寝早起き朝ごはん」 ・メディアに触れる時間の自己管理 ○生涯スポーツの推進 ・季節に応じたスポーツ機会の設定
地域	◎地域人材・素材の提供 ・放課後学習サポート、放課後子ども教室	◎地域人材・素材の提供 ・通学路の安全・安心に関わる見守り ・防災教育の共同企画、運営	◎地域人材・素材の提供 ・部活動サポーター(部活動支援員・外部指導者)

<b>目標達成に向けた具体的な取組</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「確かな学力」の定着                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別最適な学びと協働的な学びの実現を図る授業改善</li> <li>・複式授業・特別支援教育におけるICTの効果的な活用</li> <li>・学習意欲を喚起する課題の工夫</li> <li>・ファシリテーターとしての教師の役割の具現化</li> <li>・英語教育の充実(英語専科)</li> <li>・家庭学習の取組の工夫</li> </ul> </li> <li>◆質の高い教育を目指す教科担任制                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門性を生かした魅力ある授業の展開</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆豊かな心を育む体験活動と道徳教育の充実                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との連携、人との関わりを重視した体験</li> <li>・「考え、議論する」道徳科授業の充実</li> <li>・「4-3-2」のブロックを活かした活動</li> <li>・いじめゼロ運動の実施</li> </ul> </li> <li>◆9年間のつながりを重視した教育活動の実践                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・9年間を見通した「キャリアノート」の運用</li> <li>・縦割り活動、ブロック集会等の目的を明確にした異学年交流</li> </ul> </li> <li>◆自己有用感が持てる特別活動の展開                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・創意工夫のある「樹会」活動 児童生徒が主役の学校行事</li> <li>・リーダー学年(4年・7年・9年)の活躍の場の設定</li> <li>・外部人材・素材を活用した豊かな体験活動</li> </ul> </li> <li>◆特別支援教育の体制づくり                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーターを核とするチーム支援</li> <li>・9年間を見通した個別の支援計画と個別の指導計画の作成と運用</li> <li>・組織的・計画的・機動的な特別支援委員会</li> <li>・個に応じた関係機関との連携の充実</li> <li>・授業のユニバーサル化</li> </ul> </li> <li>◆系統的な避難訓練、交通安全教室、防災学校、バス指導、情報モラル教室等の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆体力向上と危機回避能力・自己判断力の育成                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「できた」という喜びや達成感を実感できる体育の授業の改善・充実</li> <li>・新体力テストの全学年実施・分析・評価・改善サイクル</li> <li>・朝の時間、業間、昼休み等を活用した体力アップの取組</li> </ul> </li> <li>◆健康教育の実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭と連携した「早寝早起き朝ごはん」運動の実施</li> <li>・望ましい食生活に関する指導の充実(栄養教諭による計画的な食育指導)</li> </ul> </li> <li>◆部活動の充実                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動サポーター等の活用</li> <li>・5年生からの部活動体験の実施(希望制 前・後期ごとに種目変更可)</li> </ul> </li> </ul>
-----------------------	--	---	--